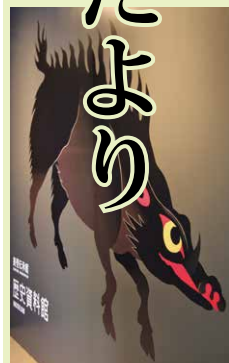


歴

史資料館だより



No.81
教育委員会生涯学習課
文化財グループ
(☎ 0296-20-6300)

大地にのこる古代の営み 古墳 当時の人々の精神世界を表す「埴輪」

●埴輪とは

埴輪とは、古墳の盛り土の上に立てられた素焼きの焼き物で、その形には人・動物などの生き物や武器・武具などの道具のほか、家・船がモチーフのものもあります。最も数が多いのは円筒埴輪です。

●埴輪の起源と広がり

円筒埴輪は2世紀に岡山県や広島県の一部で墓に供えられた壺をのせる台の形をした土器から発展したものです。



円筒埴輪

家や道具をかたどった埴輪

などは古墳の主の生活の様子を、武人や巫女の埴輪などは儀礼の様子を表現していると考えられています。

つまり、埴輪は当時の生活



馬型埴輪

それ以外の生き物や道具の形をした形象埴輪は、古墳が

作られ始めた少し後の4世紀から現れます。その頃は西日本が中心でしたが、東日本にも古墳が広まると、それとともに埴輪も普及し、古墳時代の後半には東北地方から四国・九州の広い範囲の古墳で埴輪が立てられるようになりました。

●埴輪の役割

埴輪にはどのような役割があったのでしょうか。埴輪は単独ではなく、数種類を組み合わせているものがあります。

●現在に立ち返って

埴輪は、現代にも似ているものがあります。それは、女の子の健やかな成長を祈る雛人形です。雛段飾りは宮中の婚礼儀式を表現していると言われ、ある時代の習俗を表している点は埴輪と共通していると言えます。



人物埴輪

展示紹介①

真壁のひなまつり

関連展示

現在、歴史資料館の企画展示室では「真壁のひなまつり 和の風第十八章」に合わせて展示を開催しています。

展示では、雛人形や雛道具の役割について解説します。

雛道具はいくつか実物の道具も展示し、雛道具と実物との違いなどが見どころです。

展示を見た後は、雛飾りを違った角度から楽しめるかもしれません。

展示紹介②

史跡真壁城跡出土品展

ミニ二

国史跡真壁城跡では当時の姿の復元を目的とした発掘調査を実施しています。

今回は、調査で出土した酒の杯などとして使われた「かわらけ」や茶の湯に使われた器「天目茶碗」などを最新の発掘調査成果とともに展示します。ぜひお越しください。

■展示開始日／2月4日

■開館時間／9時～16時30分

■料金／無料

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

JAは、食と農を基軸とする
地域に根差した「協同組合」です。
組合員の一人ひとりが力を合わせ、
みんなの願いをかなえていく組織です。

JA北つくば
〒308-0051 茨城県筑西市岡芹 2222
電話 0296-25-6600 (代) 総務部

職員採用説明会開催中
詳しくは当JAのHPへ
<http://www.ja-kitatsukuba.or.jp/>

社員募集

あなたの側で、
誠実に、忠実に。

株式会社 **デジタル印刷**
TEL 0296-54-2626 (代)
FAX 0296-54-2724
www.digital-54-2626.com

ISO・Pマーク認証取得までお手伝いします。

Digital Print Co., Ltd.
ISO/IEC 27001 CERTIFIED
ISIRI-PC ISMS 10000
登録番号 ISA-IS 0213